

教育

特色ある教育「学びの学校づくり」

「犬山の子は犬山で育てる」を目標に、子どもたちがあらゆる体験を通じて、豊かな「心」と未来を切り拓く「力」が身につくよう様々な取組みをしています。

○少人数学級・ 少人数授業・TT

すべての小学校において、35人以下の学級であり、現在は、すべての中学校における少人数学級を目指しています。小学校算数・中学校数学・外国語は1つのクラスを2つに分ける少人数授業を、小学校理科では、ひとつの授業をメインティーチャーとサブティーチャーの複数で担当するTT(チーム・ティーチング)を実施しています。TTにより理科の実験が増え、理科を好きになる子どもが増えています。

○子ども医療費の助成

子どもがケガや病気をしたときでも、安心して医療機関等への受診ができるよう、18歳の年度末まで通院や入院医療費自己負担分の全額を助成しています(入院時の差額ベッド代や食事料金は対象外です)。



○あたたかくて おいしい給食

市内全ての小中学校では、各校の給食室で調理をし、できたての給食を提供しています。地元の野菜などを取り入れた料理、季節や行事に合わせた献立、子どもたちからのアイデアから選ばれた「犬山ドッグ」のメニューなど、給食が楽しみのひとつになります。

○「犬山読解力」の向上

犬山市では、全ての教科に「読む・書く・聞く・話す」を意識した教育を取り入れ、読解力の向上につとめています。単なる知識の詰め込みではなく、「豊かに読む・書く・聞く・話す読解力」を身につけ、自ら学ぶ力を持った感性豊かな子どもの育成を目指しています。市立図書館には、本に親しむ環境を整備するために、子ども専用の読書空間「ブックキャンプ」があります。



○子ども大学

学校や家庭では得られない「挑戦・体験・感動」をもらうために開催している「子ども大学」。犬山について学ぶ講座や、お茶・お花、囲碁・将棋、工作、自然教室など20以上の講座に毎年約450人の子どもたちが参加します。「農業学部」では、子どもたちが実際に野菜を栽培、収穫、調理を体験します。

